

# アドマイヤーフロアブル（イミダクロプリド水和剤）

適用害虫と使用方法

2021年9月28日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	
キノア	カメノコハムシ	4000倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内	
ごぼう	アブラムシ類							3回以内（但し、は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内）
だいこん				収穫14日前まで			3回以内（但し、は種時の土壌混和は1回以内、は種後の処理は2回以内）	
たまねぎ	アザミウマ類	200倍	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーストット1冊（30×60cm、使用土壌約1.5～4L）当り0.5L	定植前日～定植時	1回	灌注	2回以内（但し、定植時までの処理は1回以内）	
あさつき		2000～4000倍	100～300L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	3回以内（但し、定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内）	
ねぎ				収穫14日前まで			3回以内（但し、定植時までの処理は1回以内、散布は2回以内）	

# アドマイヤーフロアブル（イミダクロプリド水和剤）

適用害虫と使用方法

2021年9月28日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
ねぎ	アザミマ類	2000～4000倍	100～300L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	3回以内（但し、定植時までの処理は1回以内、散布は2回以内）
	アザミマ類 ネギハモグリバエ クロバネキノコバエ類	200倍	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパポット1冊（30×60cm、使用土壌約1.5～4L）当り0.5L	定植前日～定植時	1回	灌注	
わけぎ	アザミマ類	2000～4000倍	100～300L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	3回以内（但し、定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内）
未成熟ささげ（施設栽培）	アブラムシ類	4000倍		収穫前日まで			3回以内（但し、定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内）

# アドマイヤーフロアブル（イミダクロプリド水和剤）

適用害虫と使用方法

2021年9月28日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	
未成熟ささげ(施設栽培)	アブラムシ類	4000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内（但し、定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内）	
未成熟そらまめ				収穫7日前まで（但し、露地栽培については開花期終了後）	3回以内		3回以内（但し、定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内）	
きゅうり(施設栽培)				アブラムシ類 アザミウマ類	収穫前日まで			4回以内（但し、育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び常温煙霧は合計3回以内）
かぼちゃ				アブラムシ類	収穫前日まで（但し、露地栽培については着果後）		2回以内	3回以内（但し、定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内）

# アドマイヤーフロアブル（イミダクロプリド水和剤）

適用害虫と使用方法

2021年9月28日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
かぼちゃ	アブラムシ類	4000倍	100～300L/10a	収穫前日まで（但し、露地栽培については着果後）	2回以内	散布	3回以内（但し、定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内）
すいか				収穫3日前まで（但し、露地栽培については着果後）	3回以内		4回以内（但し、定植時の土壌混和は1回以内、散布は3回以内）
メロン	アブラムシ類 アザミウマ類						4回以内（但し、育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内）
トマト ミニトマト	アブラムシ類 コナジラミ類			収穫前日まで	2回以内		3回以内（但し、育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内）

# アドマイヤーフロアブル（イミダクロプリド水和剤）

適用害虫と使用方法

2021年9月28日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
トマト ミニトマト	アブラムシ類 コナジラミ類	4000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内（但し、育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内）
なす	アブラムシ類 アザミウマ類						3回以内（但し、育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び常温煙霧は合計2回以内）
ピーマン(施設栽培)	アブラムシ類						3回以内（但し、育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内）
ブロッコリー		2000倍		収穫3日前まで			4回以内（但し、育苗期の灌水は1回以内、定植時の土壌混和は1回以内、定植後の処理は2回以内）

# アドマイヤーフロアブル（イミダクロプリド水和剤）

適用害虫と使用方法

2021年9月28日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	
ブロッコリー	アブラムシ類	2000倍	100～300L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	4回以内（但し、育苗期の灌注は1回以内、定植時の土壌混和は1回以内、定植後の処理は2回以内）	
		24倍	1.6～2L/10a					無人航空機による散布
		80倍	4～5L/10a					
トマト	アザミウマ類	2000倍	100～300L/10a	収穫14日前まで	1回	散布	1回	
やなぎたで	アブラムシ類	4000倍	100～300L/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内	
畑わさび				収穫7日前まで				
非結球キャベツ				2回以内	2回以内			
みずな							収穫3日前まで	
キャベツ							収穫7日前まで	
はくさい				150倍	4～5L/10a		無人航空機による散布	3回以内（但し、定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は2回以内）
	32倍	1.6～2L/10a						
	4000倍	100～300L/10a						
	32倍	1.6～2L/10a	無人航空機による散布					

# アドマイヤーフロアブル（イミダクロプリド水和剤）

適用害虫と使用方法

2021年9月28日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
はくさい	アブラムシ類	150倍	4～5L/10a	収穫7日前まで	2回以内	無人航空機による散布	3回以内（但し、定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は2回以内）
メキャベツ		4000倍	100～300L/10a			散布	2回以内
せり科葉菜類(コリアンダ- (葉)、セルリ-、パセリ、みつば、せりを除く)				収穫14日前まで	1回		1回
コリアンダ- (葉)				収穫3日前まで	2回以内		2回以内
セルリ-				収穫7日前まで	3回以内		3回以内
パセリ				収穫14日前まで	1回		2回以内（但し、定植時までの処理は1回以内、散布は1回以内）
はまぼうふう(葉) インゲン				収穫7日前まで	2回以内		2回以内
レタス				収穫3日前まで			3回以内（但し、定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は2回以内）

# アドマイヤーフロアブル（イミダクロプリド水和剤）

適用害虫と使用方法

2021年9月28日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	
レタス	アブラムシ類	4000倍	100～300L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	3回以内（但し、定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は2回以内）	
		150倍	4～5L/10a					
		40倍	1.6～2L/10a					
非結球レタス	アブラムシ類	4000倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内	
		32倍	1.6～2L/10a			無人航空機による散布		
		150倍	4～5L/10a					
きく(葉)(施設栽培)	アブラムシ類 アザミウマ類 ウリハムシトドギ	4000倍	100～300L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内	
葉ごぼう				2回以内	2回以内			
しそ科葉菜類(しそを除く)				収穫7日前まで	3回以内		3回以内	
しそ				収穫3日前まで	2回以内		2回以内	
アマランサス(茎葉)				収穫7日前まで				
ふだんそう				4000倍	収穫7日前まで		2回以内	2回以内
ほうれんそう				4000倍	収穫前日まで		2回以内	3回以内（但し、は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内）
アスパラガス	アザミウマ類	2000倍				2回以内		

# アドマイヤーフロアブル（イミダクロプリド水和剤）

適用害虫と使用方法

2021年9月28日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	
うど	アブラムシ類	2000倍	100～300L/10a	根株養成期（但し、収穫60日前まで）	3回以内	散布	3回以内	
ふき	アブラムシ類 コナジラミ類	4000倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	3回以内	
食用ぎく（施設栽培）	アブラムシ類 アザミウマ類			収穫14日前まで	3回以内			
食用アフリマ	アブラムシ類							
かう（施設栽培）	アブラムシ類 アザミウマ類			収穫前日まで	2回以内			
くわい	アブラムシ類			収穫21日前まで				
さんしょう（葉）				収穫14日前まで				
しそ（花穂）				収穫7日前まで				
食用かえで（葉）				収穫14日前まで				
食用さくら（葉）	アザミウマ類			収穫3日前まで	1回			1回
ふき（ふきのとう）	アブラムシ類 コナジラミ類			収穫45日前まで	2回以内			2回以内
わさび	アブラムシ類	畑育苗期	3回以内	3回以内				
れんこん		収穫14日前まで（但し、露地栽培については開花期終了後）	2回以内	3回以内（但し、植付時の土壌混和は1回以内、植付後の処理は2回以内）				

# アドマイヤーフロアブル（イミダクロプリド水和剤）

適用害虫と使用方法

2021年9月28日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
れんこん	アブラムシ類	4000倍	100～300L/10a	収穫14日前まで （但し、露地栽培については開花期終了後）	2回以内	散布	3回以内（但し、植付時の土壌混和は1回以内、植付後の処理は2回以内）
かんきつ	アブラムシ類 カイガラムシ類 ゴマダラカミキリ成虫 カメムシ類 アザミウマ類 ミカンモグリガ	2000～5000倍	200～700L/10a	収穫14日前まで （但し、露地栽培については発芽期から開花期を除く）	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
	アブラムシ類 ゴマダラカミキリ成虫 カメムシ類 ミカンジラミ アザミウマ類 ミカンモグリガ ミカンバエ	20倍	4～5L/10a				
		80倍	8～20L/10a				
		40倍	4～10L/10a				
	ミカンジラミ ミカンバエ	2000倍 2000～4000倍	200～700L/10a			散布	

# アドマイヤーフロアブル（イミダクロプリド水和剤）

適用害虫と使用方法

2021年9月28日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
なし	アブラムシ類	5000倍	200～700L/10a	収穫3日前まで (但し、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	2回以内	散布	2回以内
びわ	アブラムシ類 カメムシ類	2000倍		収穫7日前まで（ 但し、露地栽培については発芽期から開花期を除く）			
もも	アブラムシ類 カメムシ類 モモハモグリガ	5000倍		収穫3日前まで（ 但し、露地栽培については発芽期から開花期を除く）			
あんず	アブラムシ類			収穫7日前まで（ 但し、露地栽培については発芽期から開花期を除く）			
ぶどう	アザミウマ類			収穫21日前まで（ 但し、露地栽培については発芽期から開花期を除く）			

# アドマイヤーフロアブル（イミダクロプリド水和剤）

適用害虫と使用方法

2021年9月28日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
ぶどう	アザミウマ類	5000倍	200～700L/10a	収穫21日前まで (但し、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	2回以内	散布	2回以内
いちょう(種子)	イチョウヒゲヒロウトカミキリ成虫	2000倍		収穫前日まで			
アセロラ	アブラムシ類	4000倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	5回以内		5回以内
ヒメヤ		2000倍					
キウイフルーツ	カメムシ類		200～700L/10a	収穫前日まで(但し、露地栽培については発芽期から開花期を除く)			
花き類・観葉植物(きくを除く)	アブラムシ類		100～200L/10a	発生初期	5回以内		5回以内
きく(施設栽培)	アブラムシ類 アザミウマ類						
かえで	モジノタイクアブラムシ	5000倍	1L/m <sup>2</sup>	発生前	2回以内	株元灌注	2回以内
ホトトギス(施設栽培)	アブラムシ類 コナジラミ類	2000倍	100～200L/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内
デコ	デコヒメコバチ		200～700L/10a	発生初期(但し、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	2回以内		2回以内

# アドマイヤーフロアブル（イミダクロプリド水和剤）

適用害虫と使用方法

2021年9月28日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
つつじ類	ツツジゲンバイ	2000倍	100～200L/10a	発生初期（但し、露地栽培については発芽期から開花期を除く）	5回以内	散布	5回以内（但し、株元灌注は2回以内、土壌混和は2回以内）
		5000倍	1L/m <sup>2</sup>	発生前	2回以内	株元灌注	

# アドマイヤーフロアブル（イミダクロプリド水和剤）

2021年9月28日現在

作物名	適用病害虫	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	使用目的
にんじん(葉)※	アブラムシ類	4000倍	100～300L/ 10a	収穫14日前まで	1回	散布	1回	※平成31年4月1日の作物群改訂前に作物名「せり科葉菜類」に登録のある農薬は作物名「にんじん(葉)」(専用栽培)に使用可能です